

本港地区みなとまちづくり基本構想素案等に対するパブリックコメント実施結果

1	意見募集案件	本港地区みなとまちづくり基本構想素案 小松島みなと交流センターkocolo施設改修基本計画素案 小松島ステーションパークたぬき広場と市立図書館施設改修基本計画素案
2	意見募集期間	令和5年2月24日(金)～令和5年3月10日(金)
3	閲覧場所	市ホームページ、市商工観光課(市役所4階)、市生涯学習課(教育庁舎2階)
4	意見書提出者数	8人
5	意見書提出件数	12件
6	意見の内容と市の見解	次ページ以降のとおり

・提出方法の内訳

提出方法	人数	備考
郵送	0	
持参	4	
電子メール	4	
ファクシミリ	0	
合計	8	

※いただいたご意見については原文のまま記載させていただいています。

No.	件	意見の概要	市の考え方
1	1	<p>アクティブレクリエーションゾーンについて、小松島市には今まで屋内プールが無かったため、待ちに待った朗報で大変期待しています。4泳法やアクアフィットネスのレッスンもできるよう希望します。案にはトレーニングジムに関する内容の記載が無かったのですが、全身を鍛えて体力増進できる一通りのトレーニングマシンを揃えたジムを絶対併設してほしいです。仕事帰りの利用者も多いと思われます。また、リタイア組高齢者は時間的に余裕があるので、ジムは体を鍛える運動の場と共に交流の場としても最適です。</p> <p>みんなが利用しやすく健康的な生活が送れるよう後押ししてくれるようなイベントや各種レッスンをしてほしいです。</p> <p>高齢者が家に閉じこもることなく健康増進・疾病予防に励めるよう利用しやすい月会費等を設定してほしいです。</p> <p>現時点では地元にもそのような施設がないため徳島市のフィットネスクラブに通っていますが、逆に近郊に住む人が集まるような魅力的な施設が整えば嬉しいです。若い夫婦や高齢者がぜひ小松島に住みたい、住み続けたいと思えるような案が実現してほしいです。</p> <p>また、高齢者は車で通えない場合が多くなるので路線バスや巡回バスの考慮をお願いしたいです。</p>	<p>複合施設の整備に際し、参考とさせていただきます。</p> <p>複合施設の整備に際し、参考とさせていただきます</p> <p>複合施設の整備に際し、参考とさせていただきます。</p> <p>ご意見ありがとうございます。 同様に考えています。</p> <p>公共交通網等の整備について関係各課と情報共有し活用します。</p>
2	2	<p>kocoloに計画されている子ども対象の遊び場は近隣になく全天候型でもあるため、市内外から多くの方が訪れると思います。海ぞいのカフェも楽しみです。 SLの裏側にあるテントの場所が利用されていないように思うので、有効活用できないでしょうか。(例えばフットサルやバスケットボールコートなど..)</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 ご指摘の点につきましては、今後の政策検討の参考にさせていただきます。</p>
3	3	<p>小松島市は、子ども子育て世代の支援策として本計画の策定を進められております。私はこれからの子どもの育成においては「スポーツ」という正解のない問題を、子ども自ら考える力を育む場「空間」が必要であると思っております。そこで、野球・サッカーでは大きな土地が必要であり、市内には赤石港湾地区に既に存在しておりますので、R5.10月に県内ではじめてとなるプロバスケットチームが発足するにあわせて、屋外においても誰もがボールで楽しむことができるバスケットコートを設置してほしいです。市内の中心部にある公共空間である小松島ステーションパークのこの度の改修計画に盛り込むことを要望します。バスケットコートでも小さな面積で費用があまり要しない「3×3バスケットコート」を設置し、将来の小松島を担う子どもの育成、さらには市の活性化にもつながりますので検討に期待申し上げます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 ご指摘の点につきましては、今後の政策検討の参考にさせていただきます。</p>

No.	件	意見の概要	市の考え方
4	4	<p>小松島市は、将来のこまつしまを見据えた、まちの再生「リ・デザイン」を展望した「本港地区みなとまちづくり基本構想素」の素案をまとめられました。</p> <p>この中には、市の中心市街地の公共空間(スペース)である「小松島ステーションパーク」のリ・デザイン、みなとここのりのリ・デザイン、さらには新たな共創とした臨港地区内(サウンドハウスホール東駐車場)に屋内プールの建設などを一体に捉えた、将来のこまつしまの姿を創造できる構想が示されています。</p> <p>私から一つ提言をさせていただきます。</p> <p>近年、スポーツを通じた地域活性化として、プロスポーツクラブの存在やスポーツイベントの活用が全国各地で取り組みが広がっております。</p> <p>徳島県では、野球のプロスポーツクラブ「徳島インディゴソックス」、サッカーのプロスポーツクラブ「徳島ヴォルティス」が誕生して以来、地域からはじまった応援も今やその機運の高まりは県内外まで広がり、徳島の観光振興の一つになっております。令和5年10月には待望のバスケットプロスポーツクラブ「GANBAROUS」が誕生します。バスケットボールの人気は、漫画「SLAM DUNK(スラムダンク)」から広がり、子どもから大人まであらゆる世代が気軽に楽しめるスポーツとなっております。</p> <p>そこで、中心市街地の屋外スペースである「小松島ステーションパーク改修」のなかで計画が示されていない物産広場にスポーツを手軽に楽しめるアクティブゾーンとしてリ・デザインすることについて意見させていただきます。スポーツは言うまでもなく、「スポーツを気軽に楽しめ、健康づくりや体力づくり、仲間づくりができること」、「スポーツに取り組める環境があり、競技力が向上すること」、「スポーツイベントなどを通じて、例えばバスケの街として誇りが高まること」など、様々な効果が期待できます。こうしたスポーツをこの構想の中で位置付けることで、本構想のさらなる相乗効果が期待されます。物産広場の利用実態は、週一回開催されている産直市場のみとなり、コンビニの店舗展開で利用者の減少に拍車がかかっております。このスペースを最大限利用できるスポーツとして、アメリカから発足した「3×3(スリーオンスリー)」は、日本で「3×3(スリーバイスリー)」、最近では「3×3(スリーエックススリー)」であり、まさに本地区みなとまちづくりに寄与するものと考えておりますので、今一度ご再考のほどお願いいたします。</p> <p>最後に、本構想が確実に実現することを期待するとともに、市長ならびに職員の皆様のご活躍をお祈り申し上げます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご指摘の点につきましては、今後の政策検討の参考にさせていただきます。</p>

No.	件	意見の概要	市の考え方
5	5	基本構想P7_kocoloの用途について 多目的ホールでの音楽コンサート、催し物、音楽サークルの練習、阿波踊りの練習、貸室の会議等	kocoloやその周辺での主な利用状況を記載しています。
		kocoloの利用時間は、9:00~21:00では	9:00~22:00に修正いたしました。
	基本計画P8_kocoloの用途について 多目的ホールでの音楽コンサート、催し物、音楽サークルの練習、阿波踊りの練習、貸室の会議等などにも利用されています。	kocoloやその周辺での主な利用状況を記載しています。	
	P9_利用状況等について 利用の多いお年寄りは何処へ行けばいいのだろう P10_基本方針について 平日利用の多いお年寄りは今回の計画に入っていないように思えますが、何処へ行けばいいのですか？	新施設は、子どもや保護者をメインターゲットとしております。子供の遊びに視点をあて、利用者が互いに交流できる子育ての拠点として、子育て世代の定住化につながる屋内遊戯施設を目指していますが、新施設には、海を望める展望デッキを設置する予定であり、世代を超えたあらゆる方にくつろいでいただける空間も想定しています。	
	P21_管理範囲について 有料にする場合は、小松島市民は割引料金にしたらどうでしょうか？小松島市民かどうかはマイナンバーカードでチェックすればよい。一度、プログラムを作ればどこでも利用できる。	新施設の整備・維持管理については、官民連携によるものを想定しています。今後の導入可能性調査等の結果を踏まえ、有料・無料の検討をします。有料とする場合は、利用者が負担に感じない料金プランの設定などをご意見を踏まえ今後検討していきます。	
	P23_利用者数の想定について 徳島木のおもちゃ美術館はアスタムランドというすごい集客力のある場所にあり14万人というのは初年度の特別な数値であると思います。 もし小松島に同等もしくはそれ以上の施設を作っても14万人という数値は達成できるかどうかは、疑問を感じます。二番煎じでは無理だと思えます。達成できなければ誰が責任を取るのでしょうか？ 作成した人？承認した上司？市長？市会議員？ どちらにせよ施設が違うので達成できなかったと誰も責任を取らないのでしょうかね。 それで、赤字補填の為に市民の税金をつぎ込むのはどうかと思います。	みなど交流センターkocoloは、県内他の遊戯施設と差別化し、ここでなければ体験できない、何度でも足を運びたい魅力あふれる屋内子ども遊戯施設として整備を行うこととしており、今ある最善のものを作ろうと、市長はじめ市職員が責任・覚悟を持って取り組んでいます。 本港地区におけるみなど交流センターkocoloや図書館、たぬき広場の施設改修のほか、本港地区周辺では、日峯大神子広域公園（脇谷地区）の整備や、小松島競輪場におけるスポーツパークの整備など、人が集まるいろいろな要素があり、それぞれの点を線で結び、本港地区に派生させ、つなげ、さらに面にすることにより、人を呼び込む可能性が無限に広がるものと考えています。 その中の一施設として、みなど交流センターkocoloの利用者を14万人と想定しており、多くの方に利用していただける施設となるよう全力で取り組みます。	
	P28_概算工事費について どういう事業手法にするにせよ、収入および維持費がどれくらいという数値は提示すべきでないのでしょうか？	計画素案の時点においては、事業手法や利用料の有無などについて決定していないため、収入や維持費が想定できません。	
	P29_類似施設について まさか同上のような同じ施設を造るつもりではないでしょうね。小松島らしさのある独自の施設を希望します。	新施設は、みなどや海のイメージを取り入れ、県内他の施設と差別化した、小松島の魅力を活かした空間を検討しております。	

No.	件	意見の概要	市の考え方
6	7	<p>一つの施設に子供、一般人、県内外の観光客など対象は集中した方がいいと思う。対象の分散した中途半端な施設は一部の人のみが利用する施設になる。</p> <p>図書館・ステーションパークの部分は子供対象の施設を造る。</p> <p>不審者等の対策及び安全管理もし易く、赤十字病院も近くにあり、屋内の遊びと屋外の遊びの連携がとりやすい。子供向け図書施設も併設する。</p> <p>サウンドハウスは図書館・福祉センターのスポーツ筋トレ施設の移動・温水プール等、一般市民向けの施設とする。</p> <p>港交流センターは観光に特化した施設をつくるべきと考える。</p> <p>景観も素晴らしく、インスタ映えのする場所も可能である。観光施設の増設もし易く、駐車場もOK現在の案では、他の市町村にも類似施設がたくさんあり、一部の人の埋没施設となるだろう。</p> <p>まず、子供対象の図書館部分、サウンドハウスの市民対象の部分を完成し、交流センターの部分は朝市など集客から始め、別添え1草案として、県内外から人を集客施設をするべきと考える。</p>	<p>基本構想素案及び基本計画素案の作成にあたっては、ワークショップや有識者会議、子育て世代の方、市議会等でのご意見を踏まえて検討しました。</p> <p>なお、みなと交流センターkocoloは、本市の最重要課題である人口減少問題に対して、子育て世代を支援し、子育てしやすいまちづくりを推進することが重要であることから、子育て世代をメインターゲットとした屋内子ども遊戯施設としております。</p> <p>各施設の特色に沿った整備をすることで、本港地区全体の魅力の向上につながるものと考えています。</p>

No.	件	市の考え方
6	<p data-bbox="230 180 622 204">【交流センターを観光施設としての1草案】</p> <p data-bbox="230 209 277 233">目的</p> <p data-bbox="230 237 1021 317">アニメと狸をテーマとして境港の鬼太郎ロードに相当する村作り(ロードではなく)大阪万博が始まるまでに周知を図り、距離と交通の利便性により、鬼太郎ロードに行く観光客を小松島に取り込む。</p> <p data-bbox="230 322 277 346">理由</p> <p data-bbox="230 351 1014 399">当然アニメは世界的に有名であり、徳島県自体まちあそびなど推進し、集客力は抜群であり、又狸は世界的に珍しい動物の一種である。</p> <p data-bbox="230 432 277 456">場所</p> <p data-bbox="230 461 1014 509">狸公園から港・倉庫街一帯とし、飛び地として金長神社を設定(狸公園から金長神社まで約1kmであり、鬼太郎ロードとほぼ同じ)</p> <p data-bbox="230 542 277 566">対策</p> <p data-bbox="230 571 1021 676">1 境港は当初3体から始まった事から考えても、小松島には①世界一大きな狸の銅像②ジブリで広まった金長神社があり、後1つ③金長神社の銅像をつくれれば同じスタートラインに立つと思われる。最初の1体(金長)は商工会議所などが募るクラウドファンディングで費用を集めると共にSNSで周知する。返礼品は狸のアニメグッズはどうか。</p> <p data-bbox="230 732 1021 812">2 2体目以降は企業献金などを募り、アニメ作家の銅像の台座に名前を刻印することで企業名・小松島出身で成功した方に寄付を募り、港又は倉庫群に広げて行く。できれば商工会議所などが主体となり、経費として落とせる方法を考慮する。</p> <p data-bbox="230 841 1021 976">3 銅像はアニメ作家1人につき一体のみとする。狸は同じ人が書けば区別が難しい。書き手が変われば変化に富む。アニメ作家各個人にファンがおり、集客力のアップが見込まれる。徳島県には有名アニメ作家がいる事から、町おこしの理由で銅像著作権を無料、安価に交渉する。アニメ作家にはグッズなどを売る事により、還元してはどうか。狸を書くアニメ作家は小松島に銅像がなければと言われるぐらいであれば良い。</p> <p data-bbox="230 1048 1021 1128">4 様々な業者を募り、湯布院の様な倉庫群通りを作れないか。アクセサリ、食堂、海産物、農産物直売所など様々な業種で可能ならば一番の売りは産地ならではのくずしもの業者の集中販売、しらす丼などもあれば良い。</p> <p data-bbox="230 1157 1021 1236">5 市内数カ所に観光看板、案内板、のぼり下呂市の様な旗の案内を建てる。特に金長神社は市民でも場所を知らない人も多く、観光地としての周知を図る。小松島は広告・アピールが下手で、観光場所もわかりにくい。</p> <p data-bbox="230 1265 1021 1345">6 先ずは以前、市役所の横で開催していた週に1回ぐらいの朝市などでも小松島交流センター近くの車を止められる場所で、人を集める催し物をする事から始めるべきと考える。</p>	

No.	件	意見の概要	市の考え方
	8	上位計画の小松島市第6次総合計画でまちづくりの政策として掲げられている三つの観点、「ひとりひとりが輝けるまちづくり」「未来への活力を育むまちづくり」「安全・安心で快適に暮らせるまちづくり」から鑑み、現在までkocoloを利用されてきた方々のニーズ(高齢者の憩いの場・文化活動の場・イベント会場等)を、新しいみなとまちづくり計画において拾える計画にしてください。	基本構想素案については、小松島市第6次総合計画など上位計画との整合性を図り、ワークショップや有識者会議、子育て世代の方、市議会等のご意見を踏まえ作成しています。
7	9	音楽活動を行っている立場から、kocolo2階目的ホールのように天井が高く活動の発表の場となる、収容人数100名以上のホールを造ってください。また、本港地区まちづくりプロジェクトのアクティブ交流プロジェクトで考えられている多目的に利用できる会議室等、新たな空間に音楽活動やその発表の場として利用できる天井の高い空間を設けてください。	本港地区における「にぎわい拠点」には本市の文化・芸術の拠点施設であるサウンドハウスホールがあり、音楽コンサートや映画上映会など市内外の多くの方々にご利用をいただいております。文化芸術のランドマークとしての機能強化を図ってまいります。また、本港地区において、屋内プールや運動、学びなど多目的に利用できる会議室を有する複合施設を新たに整備することとしており、令和5年度においては、基本計画を策定し、施設のあり方や必要な導入機能について検討します。
		kocolo改修で計画されている新しい施設においては、高齢者の方々の憩いの場としての利用が考えられる1階テラス(屋内)と2階展望ラウンジ(屋内)および館内のトイレ等は、無料で利用できるような建物にしてください。	1階の港のテラス(屋内)と2階の展望デッキとラウンジ(屋内)については、屋外の方も無料で利用できるよう想定しています。館内のトイレにつきましては、施設利用料を有料とする場合、屋外の方は利用できないものと考えています。屋外へのトイレ設置について、今後の検討課題とします。

No.	件	意見の概要	市の考え方
8	10	<p>まず私の小松島についての認識です。 小松島は、徳島のハブ港でした。港はほぼ徳島全域の大阪神戸和歌山へのさらには東京への出口でした。また同時に他都道府県からの入り口でした。小松島を経由し徳島の北へ南へ西へ人も物も流れていきました。 今「ハブ機能」はありません。 また産業の核として「東洋紡績」がありました。今は「核」になる産業はありません。 医療の核として「日本赤十字」があり、今も徳島南部の中核病院としての役割を果たしています。 今や「日赤」が唯一の「町の核」となっています。 また地政的に県都である徳島市と日亜化学のある阿南市に挟まれた位置にあるため両市と比較され易く多方面において見劣りすることは避けられません。 「にぎわいづくり」の諸活動や「独自の住民サービス」が財政の脆弱性もあり両市との差が広がっています。 小松島市民は積極的に投票に行ったり行政に不服を申し立てたり議会に意見を述べたりしません。 しかし判断を要するときサービスのよい徳島市阿南市への移動を黙って選択するようになっていきます。 町からの「離脱」が始まっていてそれに抗する「発言」は見られません。あつたとしても「発言を受け入れる」ことを稀有です。 これが続く限り町からの「離脱」は止まりません。 ・ではどうしたらいいのでしょうか。 町に「複数の核」が必要です。 過去には①港②東洋紡③日赤がありました。今は他市と比較して優れているのは「日赤」だけです。 ・残念ながら①小松島市第六次総合計画②徳島小松島港中期計画③小松島市都市計画マスタープランからは県都徳島市と自主財源の多い阿南市の狭間で人口二万人になる町の将来ビジョンは見えてきません。 ・ではどうすればいいのか。私の考えは「CureがありCareに溢れたComfortなCity(C×4)に替えてゆく」です。 a. 「日赤」は大人の医療の核ですが「子供の全ての病に対応できる施設」は徳島市阿南市にはありません。目指すのは「大人から子供まで全ての病に対応できる高度医療センター」のある町です。 b. 日本の介護はビルの中でサービスが完結しますが世界では違ってきています。10年前オランダで作られたのが最初ですがフェンスに囲まれた一定の範囲ならば自由に動いてもかまわない介護施設の建設が各国で始まっています。「建設の中の介護」から「オープンスペースでの介護」がある町への転換です。 c. 小松島を「日赤」だけが「核」の町ではなく「子供の高度医療センター」を二つ目の「核」。さらには、「オープンスペースの中にある介護施設」を三つ目の「核」を目標に。医療と介護、子供からお年寄りまで対応できる施設群を「核」とするComfortな町に作り替えることで「人とお金が循環する町」に替えて行くことがこの町の将来像ではないでしょうか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p>

No.	件	意見の概要	市の考え方
8	11	<p>kocoloを「屋内こども遊戯施設」に整備するアイデアは素晴らしい発想です。大賛成です。</p> <p>「しおかぜ公園」も含めたスペースで子供だけでなくあらゆる世代が交流する空間を作る構想に賛成です。ただもっとアイデアを膨らませていいのではないかと、思い提案するしだいで。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・kocoloの改修について <p>0～2才、3～6才、6～11才が遊べる遊具や絵本、昼寝スペースを設置する計画ですが、母親父親だけでなくおばあさんおじいさんへのサービスも検討すべきです。特にお母さんは「悩みながら」子育てをしています。子供を遊ばせ一緒に遊ぶことは大変大事なことです。しかし同時に母親の「子育ての悩みを聞く」施設やサービスがあればkocoloの価値が膨らみます。相談員がいる「子育て相談室」「愚痴の言えるスペース」絵本だけではなく「悩みに対応する書籍コーナー」「インターネットが利用できる機具、電源、アクセスポイント」が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外イベントスペース、カフェスペース、マルシェスペースもすばらしいと思います。毎日「売り切れました」の看板が出るお店を出してください。ただもっと進めて添付しましたカラーコピーにある遊具を「しおかぜ公園」の樹木を利用して設置することを検討下さい。子供は空間を楽しみます。雨の日は回廊の下で遊べます。 ・南側駐車場の南、港口にあるタンク群の他への移動を検討下さい。防災の面からも他エリアへの移動が必要かと思えます。「しおかぜ公園」には似合いません。移動後のスペースはいくらでも考えられます。 ・令和5年度に作成する「基本構想基本計画」をもっと豊かなものにするため、結論を急がず「集合知」を探るようお願いいたします。 ・また「禁止事項」を出来る限り作らない、「本人が納得するまでできる」遊び場にしてください。 	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご指摘の点につきましては、今後の政策検討や施設整備に際して、参考とさせていただきます。</p>

No.	件	意見の概要	市の考え方
8	12	<p>たぬき広場と図書館の改修計画、アイデアは素晴らしいと思います。今までとは違う新しい図書館を作ろうとする人々に感謝します。1F2Fは蓋がある飲み物の持ち込みOK、3Fは飲食OKこれだけでも今までの徳島の図書館になかったものです。でももっと考えましょう、もっと市民に地域に役立つ図書館にしましょう。いくつか提案します、検討ください。</p> <p>A ニューヨークにあるニューヨーク公立図書館(NYPL)を目標にしましょう。規模では勝てませんが中身です。</p> <p>1.ライブラリアンの間で今評判になっている一冊の本があります。「闘う図書館」豊田恭子著です。是非お読みください、大変参考になります。</p> <p>2.まずNYPLの正面にあるライオン像の小さなレプリカを小松島市立図書館の玄関に置きましょう。「NYPLを追いかけろ」という意気込みの表明です。</p> <p>3.図書館が「無料の貸本屋」と呼ばれ貸し出し数を指標にする時代は終わっています。図書館は「知と情報のネットワーク」です。</p> <p>図書館は</p> <ul style="list-style-type: none"> a.地域の変革に役立つ b.インターネットの普及にともない図書館が地域の「核」組織になりえる。 c.多岐にわたる「解決策の発見場所」になりえる。 d.住民と行政が繋がる地点になりえる。 e.学校とは役割が異なる「教育の場」たりえる。 f.「起業」のスタート地点となりえます。 <p>NYPLは将来の小松島市立図書館の姿です。</p> <p>私達は「知らないこと」「分からないこと」に出会う毎日です。</p> <p>図書館は「世界の知と情報」を提供してくれます、またサポートして下さる「ライブラリアン」がいます。</p> <p>町の「核」にならないはずはないです。</p> <p>4.ではどのように進めたいのでしょうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> a.「集合知」の活用を進める。令和5年時間をかけて利用者利害関係者が結論を急がず対話を重ねる。 b.他の図書館を見学すると共に他図書館と議論することで学ぶ。 c.インターネットが活用できるよう自由に使えるパソコン、電源、アクセスポイントを図書内に整備する。 <p>B たぬき広場の飲食スペースについて</p> <p>1.午後には「売り切れました」の看板が出るお店を出してください。</p> <p>2.開店前に「お客が並んでいる」店を出してください。</p> <p>お願いいたします。</p>	<p>参考事例を基に改修後の小松島市立図書館が目指すべき運営について、具体的なご意見をいただきました。</p> <p>本計画は基本構想に示された将来像をもとに、子育て世代が集まり交流しやすい環境を整え、訪れる人に癒しと憩いの空間を提供することを目的とした施設へと改修するため、有識者や市民の方のご意見を参考に取りまとめられました。</p> <p>しかしながら、図書館の運営自体については、まだ議論が足りないことと認識しております。</p> <p>令和5年度以降にまず施設改修するための事業手法の検討を行う際に、図書館協議会など図書館運営に関する有識者の方にもご意見を伺う予定としております。ほかにも民間企業に対するサウンディング調査などを実施することで、施設改修後により多くの方にご利用いただける図書館の運営を模索するため、さらに検討を行うことを想定しております。</p> <p>また、ご提案のありましたたぬき広場の飲食スペースについても、サウンディング調査などでいただいた民間企業の意見などを参考にし、目的地となるような集客施設の誘致なども検討していきたいと考えております。</p>